

シンジェニックモデル

信頼性の高いシンジェニック腫瘍モデルによる免疫療法の評価

シンジェニックモデルは、がん免疫研究における重要なプラットフォームの一つです。マウスのがんの同種移植片と正常な免疫系の相互作用を観察することにより、種々の免疫療法の単剤投与および併用における治療効果を評価することができます。

適切な研究結果を得るためには、まず適切なシンジェニックモデルを選択することが重要です。当社では以下のシンジェニックモデルや関連するデータや解析プラットフォームの提供が可能です。

- 幅広い用途に使用可能な40種類以上の多様なシンジェニックモデル
- ベンチマークとなる免疫チェックポイント阻害剤(ICI)の治療データ、各シンジェニックモデルの免疫プロファイリングやがん細胞のRNAseqなどの特性データ
- 各臓器におけるTME評価のための生物発光モデル、同所移植および転移性がんモデル
- 薬効や薬物動態(PD)を迅速にプロファイリングするための複数のシンジェニックモデルを用いた *in vivo* スクリーニングプラットフォーム
- 治療メカニズムを分析するための種々の免疫学的アッセイ
- がん抗原に特化したシンジェニックモデル(開発中)



シンジェニックモデルの応用

PoC 研究

- 免疫療法の薬理効果を *in vivo* で探索
- 免疫チェックポイント阻害剤(ICI) およびワクチン、ウイルス療法、放射線療法などの免疫原性細胞死(ICD)誘導剤の併用レジメンの薬効評価
- 両側腫瘍モデルを使用した全身反応の観察
- 治癒した動物を用いた免疫記憶応答の検討
- 腸内細菌叢の関与の探索

ターゲットエンゲージメント研究

- 治療時の免疫応答性プログラム細胞死の評価
- 薬剤応答性・非応答性に関連する免疫シグネチャの解明
- 新規の薬剤および併用療法における作用機序の研究

